

定山溪国有林への3回目の植栽を実施しました



秋深まる10月18日（水）札幌大通公園にて「カミネッコン」を使って作製した（9月24日）ポット苗木を、定山溪国有林内2430ほ林小班（さっぽろ湖の上流部）に植栽しました。



植えた樹種は、植栽箇所周辺の植生を考慮し、トドマツ、アカエゾマツ、カツラ、ミズナラ、シラカンパの5種類です。

当日は晴天に恵まれ、北海道森林管理局、石狩地域森林環境保全ふれあいセンター、札幌市、「北ぐにの森づくりサークル」の30名が植栽にあたりました。

昨年にひきつづき、土場（伐採した木材を一時的に集積しておく場所）跡地でしたので、平坦で作業は非常にはかどりました。栄養分に富む表土（黒土）が剥ぎ取られているので、ちゃんと成長するか心配する声もありましたが、そこは「カミネッコン」を使ったバイオブロック工法。きっと、しっかりと根付いてくれることでしょう。



札幌水源の森づくり活動は今年で3年目。定山溪国有林への植栽も3回目です。3年間で植えた本数は合計1400本、面積は2800平方メートルにもなりました。大きく育つようお願いを込めて植栽された「ポット苗木」は、今後、自然力を満度に活用しながらりっぱな「水源の森」となるよう大事に育てていきたいと思えます。

現地については、生育状況を観察するなどしながら、引き続きホームページにて紹介していきます。

